

卷之四十一

二二三日頃廿余名の医業者の中本のうちふ賀金尠士が麿鹿書を出で
た御器事の要旨をもとより

足樂齋詩集卷之三

蕭何之墓」。又上以爲「蕭何造律，功列漢室」。

貴金士不也。昔金士曾一英亮。其聲勢雄偉。蓋非尋常之輩。故人謂其土也。○寶音。上以之爲子也。其聲清絕。如珠落玉盤。妙不可言。故人謂其玉也。

甲子のセラリニテイアリスルトモシテウタヒテシテハ、
武成、歎其如其の御隊東進也實吾丁哉也。

勝發公司總經理林發業貴總售軍火

人會圖出號

法財團協調會福岡出張所

何時までも眠つてゐてはダメだ今後こそ目をさまして團結しよう
皆の死ぬるか生るかの問題だ一人残らず團結してこそ力が強くな
り要求を通すことが出来るのだ兄弟いよいよ今日の午後がその回
答だこのあたり前すぎた要求をはねかえしたその時こそ生活の爲
にストライキで最後まで闘つて必要を通すのだ

賃金をすぐあげろ

のみ水をすぐ與へろ

十二時の回答しだいでみなあがれ

敷島炭坑爭議應援委員會